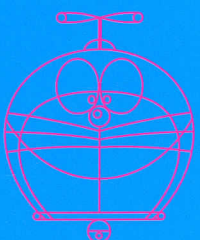


依頼：あなたのドラえもんをつくってください（藤子・F・不二雄）
Irai : anata no DORAEMON wo tsukutte kudasai (fujiko・F・fujio)



上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

上 下 展

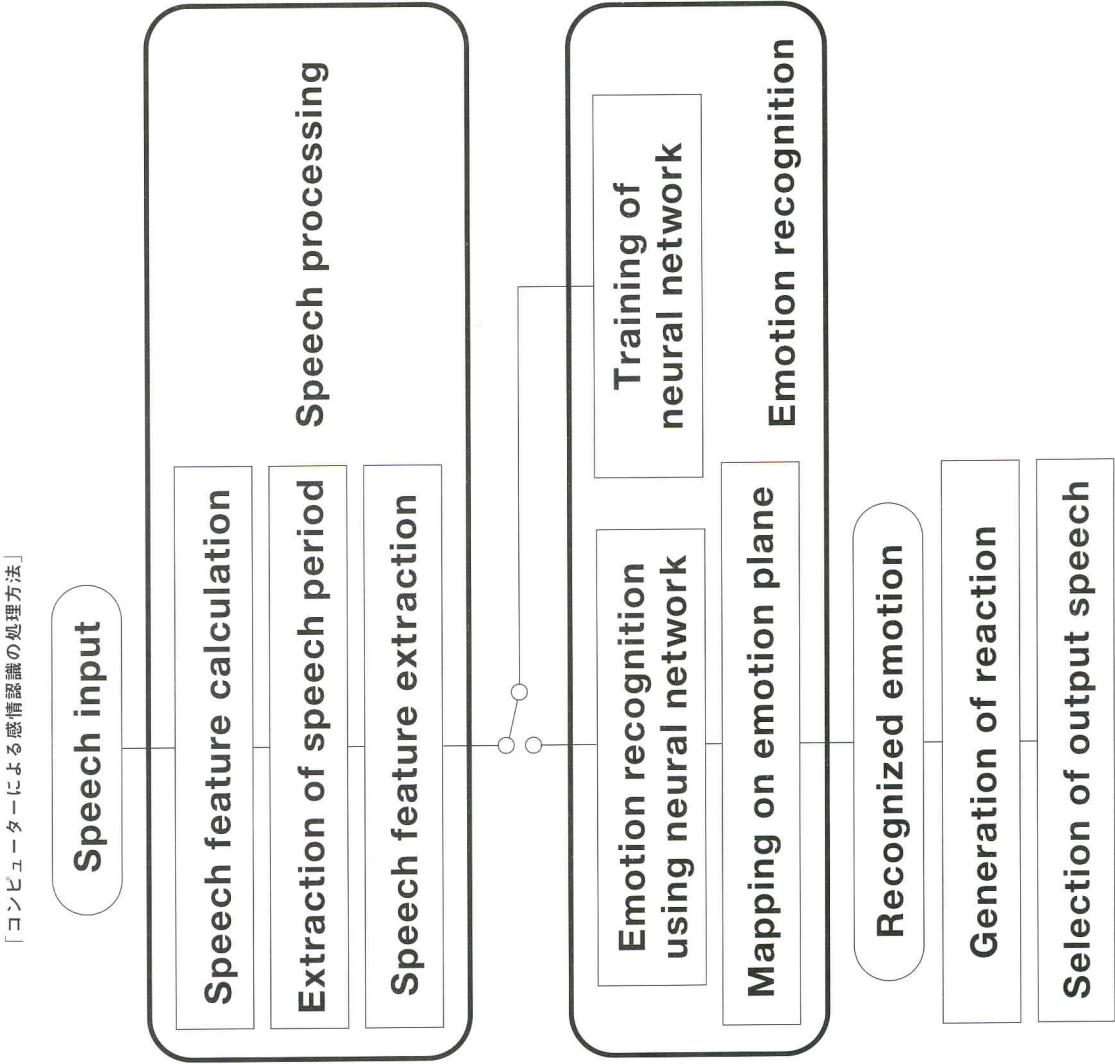
上 下 展

上 下 展

上 下 展

ドラえもんが観客（あなた自身）と話して、願いをかなえてくれる作品です。

対話の方法は、あなたが、インタラクティブな人工知能エージェント技術によるドラえもんコンピューターにこっそり話しかけます。すると、ドラえもんコンピューターが感情認識をして、あなたの願いにぴったりのひみつ道具のカードをポケットの中から出します。いつものように夢のような宝物を出して、あなたを助けてくれるハッピーにしてくれる作品です。





ドラえもんとは、私にとっては、きつと甘い綿菓子のような夢である。また、幼いころに読んだ「アラジン魔法のランプ」だ。その心は、よいことをしていたらきつと報われるといった勧善懲悪ではない。もっと現実的な物、例えば、毎日つまらないなあ、なんかいいことないかなあとか、なんでこうなるんだろうと考えている、のび太のように平均的で従順なボケっとした子供に、棚からぼたもちが落ちてきて、平凡な日常に輝く宝を発見したような感覚である。



MIT高等視覚研究所リサーチフェロー、ATR人間情報科学研究所主任研究員、科学技術振興事業団「相互作用と賢さ」領域研究員。東京大学大学院研究科博士号取得。コミュニケーションをテーマとし、コンピューターを使用した意識・無意識・感情の情報に関連した作品を制作。2000年アルスエレクトロニカ芸術祭インタラクティブアート部門で表彰。2000年度文化庁特別派遣研修員。芸術科学会副会長、九州芸術工科大学客員教授。

私にとってのドラえもん、それはズバリ痛み止めでした。子供というのは常に「あれがほしいこれがほしい!」と言うのがシゴトです。それは物欲から始まり、近所の仲間に対する権力欲、将来を夢見る出世欲、隣の何々ちゃんへの欲情。そして、とどまる所を知らないおう盛な知識欲。これぞ欲のデパート! 欲の総合商社!あたり前ですが、そんな欲望の数々がかんうはずがありません。そんなとき、一人、心の中でいつもつぶやいていた「ドラえもんさえてくれたらな……」。その一言がおまじないとなって、ぽっかりあいた宮師少年の心の穴をいつも埋めてくれたのでした。



1964年東京生まれ。91年鈴木直之と共にタイクーングラフィックス設立。CDジャケットデザインやファッションブランドのグラフィックデザインを中心に、企業広告、ロゴデザイン等の分野で幅広く活動している。最近の仕事:「atehaca」(TOSHIBA)、MOTION ELEMENTのアートディレクション及びデザイン、TOWA TEI、中島美嘉、BIRD等のビジュアルワークなど。

娘が夢中になってドラえもんを見ている。その姿を見て自分も同じように見ていた頃を思い出すと何だか不思議な気分になります。ポジティブな色んなことを思い浮かべてイメージすれば何でも叶うし実現する、そんな気持ちになれるキャラクターが自分にとってのドラえもんです。



1964年新潟生まれ。91年宮師雄一と共にタイクーングラフィックス設立。

最近の仕事:「atehaca」(TOSHIBA)、MOTION ELEMENTのアートディレクション及びデザイン、TOWA TEI "SRATM" など。

